

草木の実<フィールドとつながる絵本原画展> 開催概要

1. 名称：草木の実<フィールドとつながる絵本原画展>
2. 主催：独立行政法人国立科学博物館附属自然教育園・株式会社少年写真新聞社
3. 会期：2024年11月9日(土)～12月27日(金)
5. 場所：国立科学博物館附属自然教育園（港区白金台）
6. 開園時間：9:00～16:30(入園は16:00まで)
7. 展示：

■絵本の原画展示

絵本『旅をしたがる草木の実の知恵(盛口満 文・絵)』、『木の実のたんけん(おくやまひさし 文・絵)』、『ドングリのたんけん(おくやまひさし 文・絵)』より、自然教育園で見られる植物を中心に、原画19点を選定して展示しています。動けない植物ならではの、植物がタネを遠くへ運ぶための工夫を、美しい絵本原画で見ることができます。



■“草木の実” 実物展示

風で運ばれたり、動物に食べられたりして、植物はタネを遠くへ移動させます。様々な方法で移動する「草木の実」のユニークな形態を、実物でじっくりと見ることができます。



■ “草木の実” 3D模型展示

動物にくっついてはこぼれる“タネ”の3D模型を展示しています。タネの精緻な仕組みを、模型で細かい部分までご覧いただけます。



8. 体験イベントなど

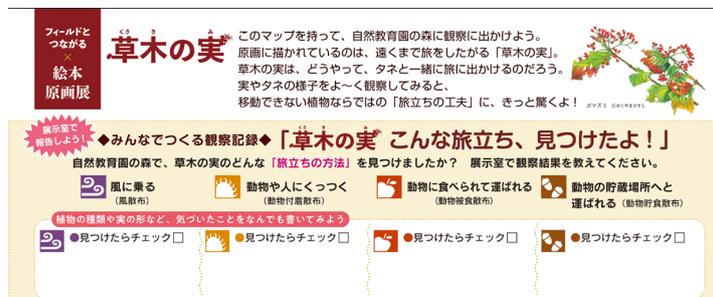
■ ワークシート「草木の実たんけんマップ」

展示した原画から、園内で観察できる植物を選定し、マップでご紹介しています。園内には植物の解説看板も設置しました。絵本原画を見た後で、実際に生育する植物を観察することで、自然への理解をより深めていただけることでしょう。



■ 参加型企画「くみんなで作る観察記録」草木の実 こんな旅立ち見つけたよ」

参加者は、園内で様々な「草木の実」を観察し、そのタネの移動方法について、展示室でシールを貼って報告します。園内の植物は、どんなタネの移動方法が一番多いでしょうか。結果をお楽しみに！



■シードトラップ

園内に、上から落ちてくるタネを集めるためのシードトラップを設置しました。どんな種類のタネがどれだけ入ったかを観察することができます。

園内で探してみよう！

せっち ちゅう 草木の裏 園内観察会誌！

シードトラップ設置中

自然教育園で落下するタネを観察しよう

園内に、上から落ちてくるタネを集めるためのシードトラップ（1m×1m）を設置しています。どんなタネが、どのくらい入っているかな？

△シードトラップ

△ひょうたん池近くのあずま屋横に設置中

シードトラップとは？

その森の様子や産量、どれだけのタネがあるか調べるために用いられる調査方法です。1平方メートルの範囲に落ちた樹木から落ちるタネを採ります。英語であるシード（seed）は日本語でタネのことを表します。

こんな活用方法もありよ！

- ・タネを採る動物（鳥・どんぐりを食べるクマ）の餌の量を調べる
- ・外産種と為から侵入するタネの産量や量を調べる
- ・他にも様々な活用されています。

【その他広報用写真等】



自然教育園空撮



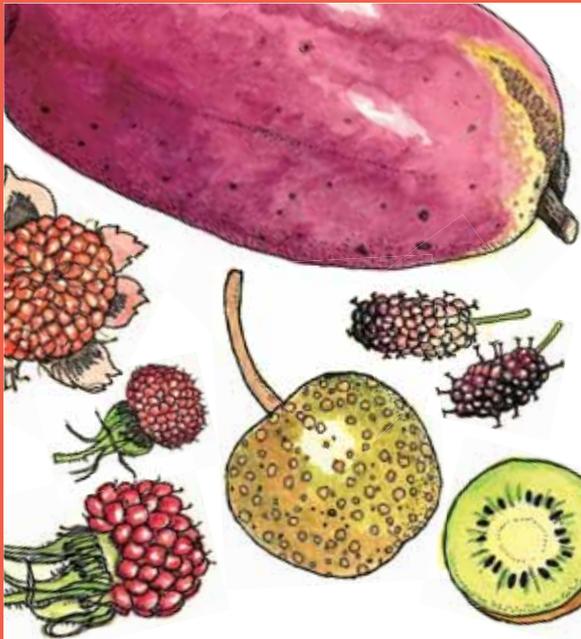
秋の自然教育園内の様子



アケビの実



サネカズラの実



フィールドと
つながる
×
絵本
原画展



絵で感動!

く さ き み
草木の実



フィールドで
もっと
感動!



会期 **2024 11.9 (土)** ▶ **2024 12.27 (金)**

入園料 **320円** ※高校生以下・65歳以上・障がい者とその介護者1名まで無料
開園時間 **9:00 ~ 16:30** ※入園は16時まで

※会期中休園日: 11/11(月)・18(月)、12/16(月)・23(月) ※会期等は変更になることがあります。詳細はホームページ等でご確認ください。

国立科学博物館附属 自然教育園 (港区白金台)
天然記念物及び史跡 教育管理棟1階展示スペース

主催 国立科学博物館附属自然教育園 株式会社少年写真新聞社

お問い合わせ(自然教育園)
03-3441-7176



自然教育園HP

フィールドと
つながる
×
絵本
原画展

くさきみ
草木の実

自然を題材とした絵本には、新しいことを知る「感動」と好奇心をくすぐる「興味」がたくさん詰まっています。絵本を読んだあとにフィールドで本物の自然を見ると、感動はさらに深まり、興味は理解へとつながります。

「草木の実」の色や形は多種多様。そこには、動けない植物ならではの、タネを遠くに運ぶための工夫がたくさん詰まっています。本展では、そのユニークな姿を美しい絵本原画で紹介します。

絵本が伝える自然の魅力。フィールドだから気づくこと。その相乗効果から、自然の「おもしろさ」と「不思議」をより感じていただけるような工夫を散りばめました。

◆フィールドとつながる絵本◆

『旅をしたがる草木の実の知恵』



実が美味しくなるのも、ベタベタとくっつくのも動物に運んでもらうため。風に乗って飛ばされたり、水に浮かんで流されたりするのも、タネを遠くに運ぼうと、旅をしたがる草木の実の知恵です。



◎盛口 満

●絵と文 盛口 満(通称、ゲッチョ先生)●

緻密な絵と軽妙な文、豊富な博物学的知識で自然のおもしろさと奥深さを万人に伝える達人！

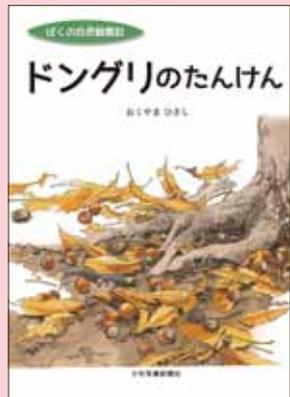


◎安田 守

●写真 安田 守●

長期にわたり、根気強く生きものに向き合って、自然の不思議を丹念に記録する生きもの写真家。

ぼくの自然観察記 『どんぐりのたんけん』・『木の實のたんけん』



アオキ



スガジイ

◎おくやま ひさし

◎おくやま ひさし

秋の野山や公園などを歩く楽しみに、色とりどりの木の實や地面にいっぱい広がったどんぐりとの出会いがあります。普段気づかない木の實の魅力を絵とフィールドで紹介します。

●絵と文 おくやま ひさし●

自ら絵を描き写真を撮り、自然の不思議やおもしろさを、絵本で伝える野遊びの達人！

◆自然教育園ってどんなところ？◆



大都市「東京」に残された貴重な森林緑地



四季折々にさまざまな生きものを身近に観察できます



●JR山手線 目黒駅東口・東急目黒線 目黒駅正面口(中央口)より徒歩9分
●東京メトロ南北線・都営三田線 白金台駅1番出口より徒歩7分
東京都港区白金台5-21-5